

平成29年度第1回習志野市文化財審議会会議録

日 時 平成29年8月30日（水） 午後2時～午後3時30分
場 所 習志野市役所5階会議室5-2
出席委員 山岸会長・夏目副会長・阿由葉委員・朽木委員
出席職員 植松教育長・井澤生涯学習部長・斉藤生涯学習部次長・奥井生涯学習部副参事
（社会教育課長事務取扱）・松浦文化財係長・鶴岡副主査・岩田主事
傍聴者 1名

会議次第・内容

— 開会 —

1. 会長挨拶

会議次第「6. その他」の後半部は調査・交渉に関わる案件であるため、非公開とすることに決定した。

2. 教育長挨拶

3. 職員紹介

4. 議事録署名人選出

委員名簿の順に従い、朽木委員と、本来山本委員が選出されるはずだが欠席のため阿由葉委員が議事録署名人に選出された。

5. 報告

（1）指定文化財・登録文化財等

ア 県指定文化財

事務局 県指定文化財について報告。

- ・旧大沢家住宅及び旧鴫田家住宅について、平成29年7月31日現在の入館者数を報告。
- ・旧大沢家住宅について5月に新京成沿線のイベントがあったため例年と比較して突出した数字になった。6月・7月も比較的好調となっている。
- ・平成29年6月11日、旧大沢家住宅において不法侵入者により竹垣が1本破壊された。器物損壊罪で習志野警察に被害届を提出。現在は応急的な補修を行っている。
- ・旧大沢家住宅で七夕飾りを今年度新規で実施。来年度以降も実施予定。
- ・旧鴫田家に関して、昨年度と比較し4・5月の来館者が大幅に減少。昨年度は再オープン後に来館者数が突出した日があった。今年度は4・5月の土日に雨が多かったことも影響していると考えられる。
- ・旧鴫田家住宅でも今年度より七夕飾りを実施。来年度も継続予定。
- ・10月4日（水）中秋の名月の日に、旧鴫田家住宅でお月見の会を実施予定。
- ・藤崎堀込貝塚について、説明板の板面の文字が薄くなったので、平成28年度

末に板面交換を実施した。

イ 市指定文化財

事務局 市指定文化財について報告。

- ・実籾3丁目遺跡出土土器・谷津貝塚出土墨書土器・瓦塔について、総合教育センターで引き続き展示中。
- ・鷺沼古墳B号墳箱式石棺については、定期的に清掃を実施している。
- ・藤崎正福寺の大イチョウについて枝葉が茂り過ぎているため、枝の剪定を検討中である。

委員 大沢家住宅の不法侵入については、何か取られたものはなかったか。

事務局 何も取られなかった。

(2) 埋蔵文化財

ア 開発に伴う埋蔵文化財の取扱確認・協議業務

事務局 埋蔵文化財包蔵地に係る相談業務、確認・協議の状況を報告。

イ 周知の埋蔵文化財包蔵地における埋蔵文化財の取扱い

事務局 周知の埋蔵文化財包蔵地における埋蔵文化財の取扱いについて報告。

委員 市役所の周辺を工事している。周知の埋蔵文化財包蔵地であるはずだが、埋蔵文化財が出てくる可能性はあるのか？

事務局 事前に照会を受け試掘を行った。ほぼ全域が削平されている。旧地形がごく一部残っているところもあるが、工事範囲外である。

委員 (現在の市役所の位置にあった) 習志野高校の工事の際埋蔵文化財が出てきたのではなかったか。

事務局 そうである。工事に伴って発見されて調査されたらしい。

(3) その他

ア 文化財等の調査・整理

事務局 市史関連資料の収集と現在保管している資料の整理について報告。

- ・市の歴史に関わる資料、主に書籍、写真、電子文献などの収集を行っている。
- ・市庁舎の移転に伴い、市史編さん室も新しい市庁舎に移転した。現在資料類の配

架を進めている。

イ 文化財等の普及・活用

事務局 文化財等の普及・活用について報告。

- ・総合教育センターにおいては、引き続き市指定文化財の実籾3丁目遺跡出土土器、谷津貝塚出土資料を展示しているほか、小企画展「どうしてこのカタチ？—モノからわかる奈良・平安時代の谷津貝塚—」を11月末まで開催している。
- ・新市庁舎の展示スペースにおいて、市の歴史資料・文化財を展示ケース2個分常設展示中。現在は市内出土の考古資料を展示中（藤崎3丁目南遺跡、藤崎堀込貝塚、鷺沼古墳、谷津貝塚等）。今後年1～2回入替予定。
- ・歴史に関する講座への講師派遣、文化財等に関する問い合わせ、資料利用依頼への対応を引き続き行っている。

ウ 文化財保護行政の推進

事務局 文化財保護行政の推進について報告。

- ・千葉県北西部地区文化財行政担当者連絡協議会において文化財関係の情報交換、展示会・発表会の準備作業などを行った。
- ・今年度は千葉県北西部地区文化財発表会を流山市で開催する予定であり、習志野市も発表を予定している。
- ・平成29年度市町村文化財担当職員講習会に参加した。

6. その他

- ・山岸委員より昭和女子大学とハノイ国家大学が実施したクーランチャム島（ベトナム）の発掘について事例紹介があった。
- ・夏目委員より「近年の文化財建築の指定、特に重要文化財の動向」及び「西洋美術館がなぜ世界遺産になったか」について発表があった。
- ・近年、昭和時代に建てられた建築物の指定が増加している。
- ・DOCOMOMO（documentation and conservation of buildings, sites and neighbourhoods of the modern movement）の日本支部の活動について。
- ・国立西洋美術館におけるコルビュジェのコンセプトの評価について。